

知っていると、ちょっと幸せになれる

## Delta Tips

NMDT\_0049

## 表示の関連付け機能 (1D)

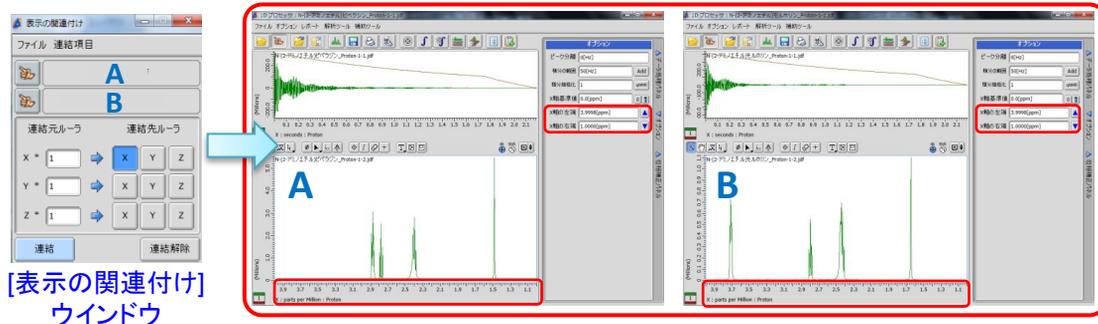
NMR data processing software

Delta  
NMR Software

v5.0



1Dプロセッサデータの表示領域を関連付けて共有することができます。  
各々のスペクトルを同じ表示領域で比較しながら、データ処理を行うことが可能です。

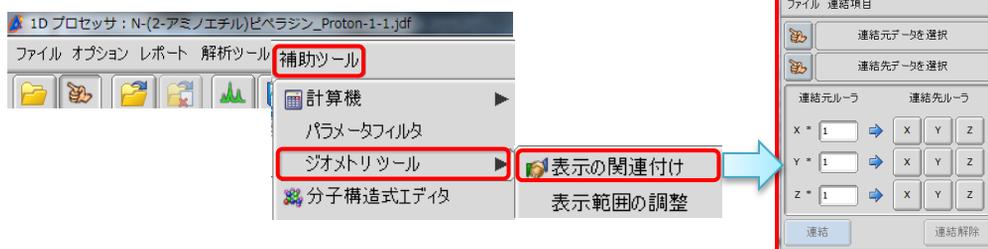


[表示の関連付け]  
ウィンドウ

表示領域を共有した1Dプロセッサ上のA(<sup>1</sup>H)とB(<sup>1</sup>H)のデータ  
同じ周波数領域で比較できる

## ① [補助ツール]メニューの[ジオメトリツール] - [表示の関連付け]を選択する。

⇒[表示の関連付け]ウィンドウが開きます。



## ② [表示の関連付け]ウィンドウの[Finger]ボタンを押す。

⇒カーソルの形が[指マーク]アイコンに変わります。

## ③ [指マーク]アイコンで関連付けたいスペクトルデータをクリックする。

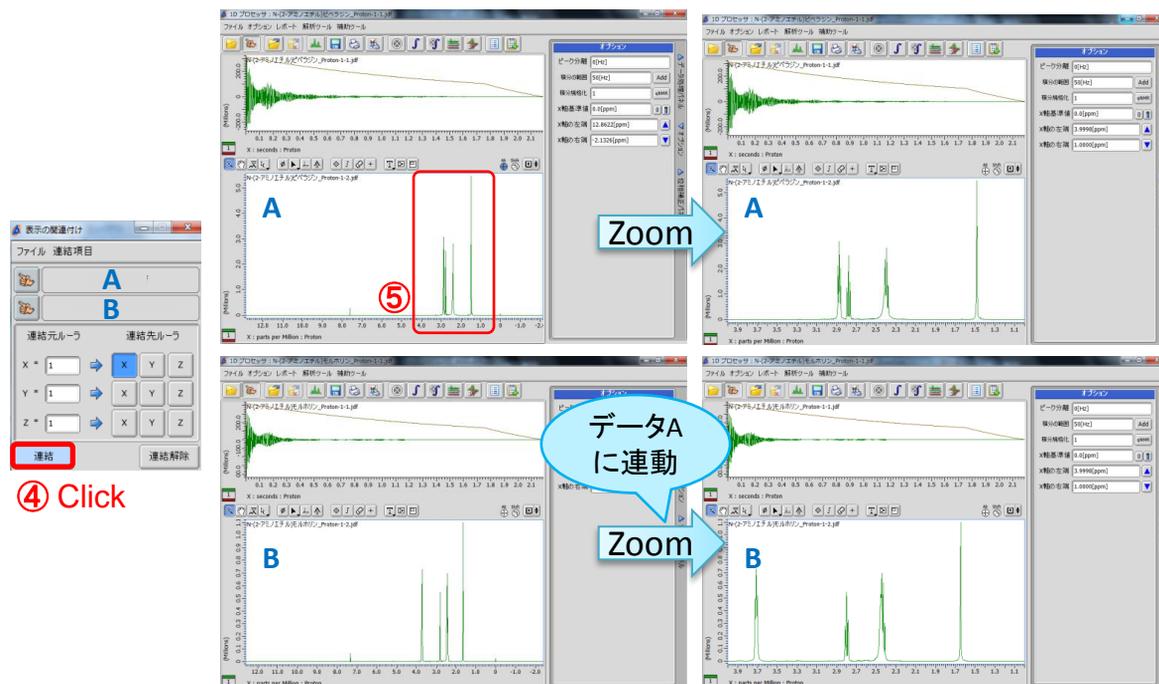
⇒クリックしたスペクトルが連結対象として選択されます。





- ④ **連結** [連結]ボタンを押し、⑤スペクトルAを任意の周波数領域に変更する。  
(スペクトルA上の赤枠部分)

⇒スペクトルAに連動して、スペクトルBの表示領域が自動的に調整されます。



A(1H)とB(1H)スペクトルをX軸1~4 ppm 周波数領域で同時に拡大表示

- ★ 連結を解除したい場合は **連結解除** [連結解除]ボタンを押してください。
- ★ 1Dプロセッサ上のスペクトルだけでなく、データスレート上のスペクトルとの関連付けも可能です。また、データスレート上のスペクトルどうしの関連付けも可能です。
- ★ データスレート上の複数スペクトルどうしの関連付けは、データスレートのコネクト機能でも同様の操作が可能です。⇒(NMDT\_0040)